

■パネリスト 岡山県西粟倉村長

道上正寿氏



【西粟倉村の概要】面積：57.93 k㎡
人口：1,704人、財政力指数：0.14₅₇
標準財政規模：9億7700万円
経常収支比率：91.7₅₇
起債制限比率：13.0₅₇
人口1人あたり地方債現在高：155万4千円

演の最後に、自治体には誇りと自信が大事だといわれました。今、まちの職員には、まちの歴史を次の世代にきちつと伝える役割をしていこうと話しています。

片山知事 先ほどの町村長のお話を伺って、非常にうれしくなりました。皆さん非常に元気ですね。まちの実情は大変なんです、皆さんは、その実情を認識したうえで、これ以上悪化しないように処方せんを頭に描いておられる。今話し合ったことを国に対して強く言っていけば日本は変わると思います。

吉田町長 まちは死んではいない。まちは生きていることを私たちは認識すべきです。事業費がつかないから仕事が

いるような気がしてなりません。地方からものを言うこと提案していく力量を持たねばと思います。

三位一体改革とは何だったのか

景山町長 国の政策には、交付税の削減ばかりが目について、明るい展望が見えてきません。税源移譲されても、もともと税源が少ない小規模町村についてはほとんど恩恵がないということになります。今後ますます自治体間の格差が広がっていくのではないのでしょうか。この件についてご意見がありますか。

筒井町長 三位一体改革により、私たちの見込み以上に交付税が減額されており、もはや町を維持していくことすら



■パネリスト 鳥取県三朝町長

吉田秀光氏

【三朝町の概要】面積：233.46 k㎡
人口：7,805人、財政力指数：0.30₅₇
標準財政規模：24億4,700万円
経常収支比率：89.5₅₇
起債制限比率：11.2₅₇
人口1人あたり地方債現在高：76万4千円

■パネリスト 鳥取県若桜町長

小林昌司氏



【若桜町の概要】面積：199.31 k㎡
人口：4,690人、財政力指数：0.15₅₇
標準財政規模：19億8,400万円
経常収支比率：98.4₅₇
起債制限比率：13.9₅₇
人口1人あたり地方債現在高：107万円

無理になってきていると考えます。市町村も県も議員も、霞ヶ関で一揆を起すくらいの気持ちで団結して戦っていかなければならないと思います。

樋口町長 同感です。行政改革について、末端の毛細血管である我々自治体が痛めつけられる状態ではいけない。本来ならば大動脈から手術しなければ血管の流れは良くならないと感じます。

景山町長 知事会などを通じて国と議論をされている知事のコメントをお願いします。

片山知事 三位一体改革について、当初の目的と結果が全く違ってきています。本来は交付税を減らすためではなく、国から地方への補助金を改革して、自治体が自由に使える

お金をつくるはずのものだったんですが。

また、新型交付税などの竹中総務大臣の構想には、私は賛成です。これは先ほど樋口町長が言われた動脈部分の改革で、ポイントは3つ。まず一つ目は交付税改革。交付税の簡素化のため、人口と面積を基本にして交付するやり方です。そうすると、我々のような人口の少ない自治体には交付額がかなり減るとの試算もあります。大臣は高齢化率などを勘案して必要な補正はしていくとのこと。こうした交付税のルール化は必要と考えます。二つ目は地方債の自由化。自治体の借金への国の関与をやめようということです。そして三つ目は、自治

景山享弘



【日野町の概要】面積：134.02 k㎡
 人口：4,327人、財政力指数：0.20（※）
 標準財政規模：19億6200万円
 経常収支比率：92.3（※）
 起債制限比率：14.2（※）
 人口1人あたり地方債現在高：140万2千円

体の破たん処理システムの構築です。まずは破たん防止のため、お金の貸し手にちゃんとしてエックしてもらい、万一破たんした場合には債務を圧縮して、再建型の破たん処理を行うということです。

交付税に問題はたくさんありますが、一番悪いのは合併特例債。借金しまくったために困って合併したのに、そこでさらに特例債で借金させる。そういうことはやめなさいと言っているのに耳を傾けてくれずに今日に至っている状況です。

単独自立へ向けて

景山町長 それでは、小規模町村の自立と、本来あるべき地方分権の改革について議論

したいと思いますが、パネリストの皆さんの単独自立への方針などがありますか。

筒井町長 まちづくりについて、住民でできることは自分たちでしていこうとする住民自治に少しずつ変わってきているので、ある程度交付税の見通しがつけば生き残っていきけると思います。

樋口町長 職員がリードして住民にやる気を持ってもらうことが大切。今までは、ハコモノ行政など、ないものねだりをしてきたと思いますが、今ある地域資源をもう一度見直すべきと考えます。

吉田町長 固定資産税率アップなど、自主財源の確保にも限界があります。政治家にも責任感を持つてがんばっても

らいたい。

道上村長 住民サービスは時代の变化に合わせて変えていかなければいけません。それを中・長期的な視点で国が示して欲しいということをもっとアピールするべきです。小林町長 これからは、自分のところに合った発想の転換が必要。なんでも切っていくのではなく、今ある施設を活用して儲けられるところはしっかりと儲けていかなければなりません。

景山町長 皆さんの「まちを守っていこう」という思いについて、知事はどうお考えですか。

片山知事 自立のためにはいくつかがポイントがあります。ひとつは、将来の見通しがで

用語解説（その2）

起債制限比率 = 標準財政規模に対する公債費（まちの借金の返済金）の占める比率の過去3年間の平均。20%を超えると地方債の許可が一部制限されます。

人口1人あたり地方債現在高 = まちの借金の総額を人口で割ったもの。

きる交付税のルール化。もつひとつは、交付税を減らすならば、自治体も仕事をスリム化できる自由度の拡大。そして、自分たちでできることを自治体が努力すること。例えば、病気になるための健康づくりを社会運動としてやることで病気がなくなり、医療費が減り、住民生活の質が良くなる。これは自分たちでできることで、国から言われることもありません。ほかにも、ごみの分別収集や、バスを利用することで地域の行政コストはどんどん下がります。皆さんもぜひ実践してみてください。

景山町長 日野町営バスも、皆さんが利用されればされるほど維持費用が下がります。まちの発展の起爆剤にしたいと思っています。

まとめ

景山町長 今日話し合った意見は、知事が中央で話してくださると思います。私たちはそれを後から盛り上げるようにしなければと考えます。ムシ口旗を立てて国に対して物申す姿勢にならねばと。生き残っていくためには、まず、



知事の的確な助言のもと討論

自分たちができることは自分たちでやってみて、できないところは行政と一緒に話していく姿勢を貫いて自立していきたいと思います。今日はパネリストの皆さんの熱い思いが伝わったと思います。ありがとうございました。

パネルディスカッション終了後、客席からパネリストへの質疑応答があり、サミットは閉会しました。当日の参加者は、文化センターと開発センター（映像視聴）合わせて約350人でした。